

表 2027年予算案・主な歳出策

司法・警察・公衆衛生	裁判所・検察	裁判所職員の体制維持のため、裁判所に300万ユーロ、国家検察庁に100万ユーロの予算を追加配分。
	刑務所・保護観察	インフレ連動による罰金の最低額引き上げに伴う受刑者収容需要の増加に対応するため、刑務所・保護観察庁に345万ユーロ、受刑者の増加対策に100万ユーロを追加配分。
	受刑者医療・薬物リハビリ	刑務所医療に22万7,000ユーロを配分し、薬物依存リハビリサービスを拡大。
	罰金収入	罰金の最低額変更により、罰金収入は約390万ユーロ増加する見込み。
	警察・強制送還	送還手続きの効率化のため、警察に100万ユーロ、フィンランド移民局に100万ユーロを増額。
	児童犯罪捜査	児童に対する犯罪捜査を支援する医療・社会福祉部門の新業務に約270万ユーロを増額。
医療・社会福祉	医療改革・継続的ケア	地域福祉区域、ヘルシンキ市、ヘルシンキ大学病院グループ（HUS）の医療・福祉サービス開発プロジェクトに4,000万ユーロを配分（継続的ケア、かかりつけ医モデル、要介護者支援、若者や長期ホームレス向け支援など）。
	福祉団体・地域連携	地域福祉区域・ヘルシンキ市が福祉団体と共同で実施する開発プロジェクトに2,500万ユーロを配分。
	避難所	避難所の収容定員拡大のため、約268万ユーロを増額。
	心理療法士教育	2段階の心理療法士養成制度に伴う大学費用補償として1,000万ユーロを配分。
	専門支援・研究機関	オストロボスニア地域福祉区域に110万ユーロを配分（顧客・患者安全センターの費用補償）。 UKK研究所（健康・運動研究機関）に約80万ユーロを配分。 先住民のサーミ人向けの心理社会的支援の実施に50万ユーロを配分。
環境・住宅・農林水産業	住宅の省エネ化	住宅のエネルギー効率向上を促進する補助金として総額5,000万ユーロを配分。
	森林生物多様性	フィンランド南部森林生物多様性プログラム（MESTO）に500万ユーロを追加配分（環境省に400万ユーロ、農林省に100万ユーロ）。
	アフリカ豚熱（ASF）対策	2026年7月に発生したアフリカ豚熱の封じ込めに必要な財源を確保する方針。2026年末まで捕獲されたイノシシの検体提出報奨金を500ユーロに引き上げ。地域経済や地元産業への影響に対する支援・調整も実施。
	馬産業支援	ギャンブル制度改正の遅れに伴い、馬産業向けに移行期のつなぎ資金として400万ユーロを配分。
地域開発・産業・インフラ	産業許認可の迅速化	許認可手続きの優先処理のため200万ユーロの臨時予算を配分。
	地域社会・過疎地支援	地域コミュニティの防災・危機管理〔キュラバラ（Kylävara）プロジェクト〕に100万ユーロ、集落の個人商店支援に20万ユーロを配分。
	バーサ地域	バーサ（Vaasa）大学および研究インフラ強化に100万ユーロ、同地域のインフラ事業に100万ユーロを配分。
	道路インフラ	国道5640号線（ニスカキュラ〜カッタアランキュラ間）の改修に150万ユーロを配分。
教育・文化・研究	文化教育（Art Testersプログラム）	2027／2028年度の同プログラムに350万ユーロを配分。
	社会福祉研究	本年度未消化となった社会福祉研究予算400万ユーロを、2026年補正予算案にてフィンランド研究評議会（Research Council of Finland）へ再配分。

（出所）フィンランド政府ウェブサイトを基にジェトロ作成